

# 事後評価結果（平成26年度）

担当課：東北地方整備局道路計画第一課  
 担当課長名：米澤 明男

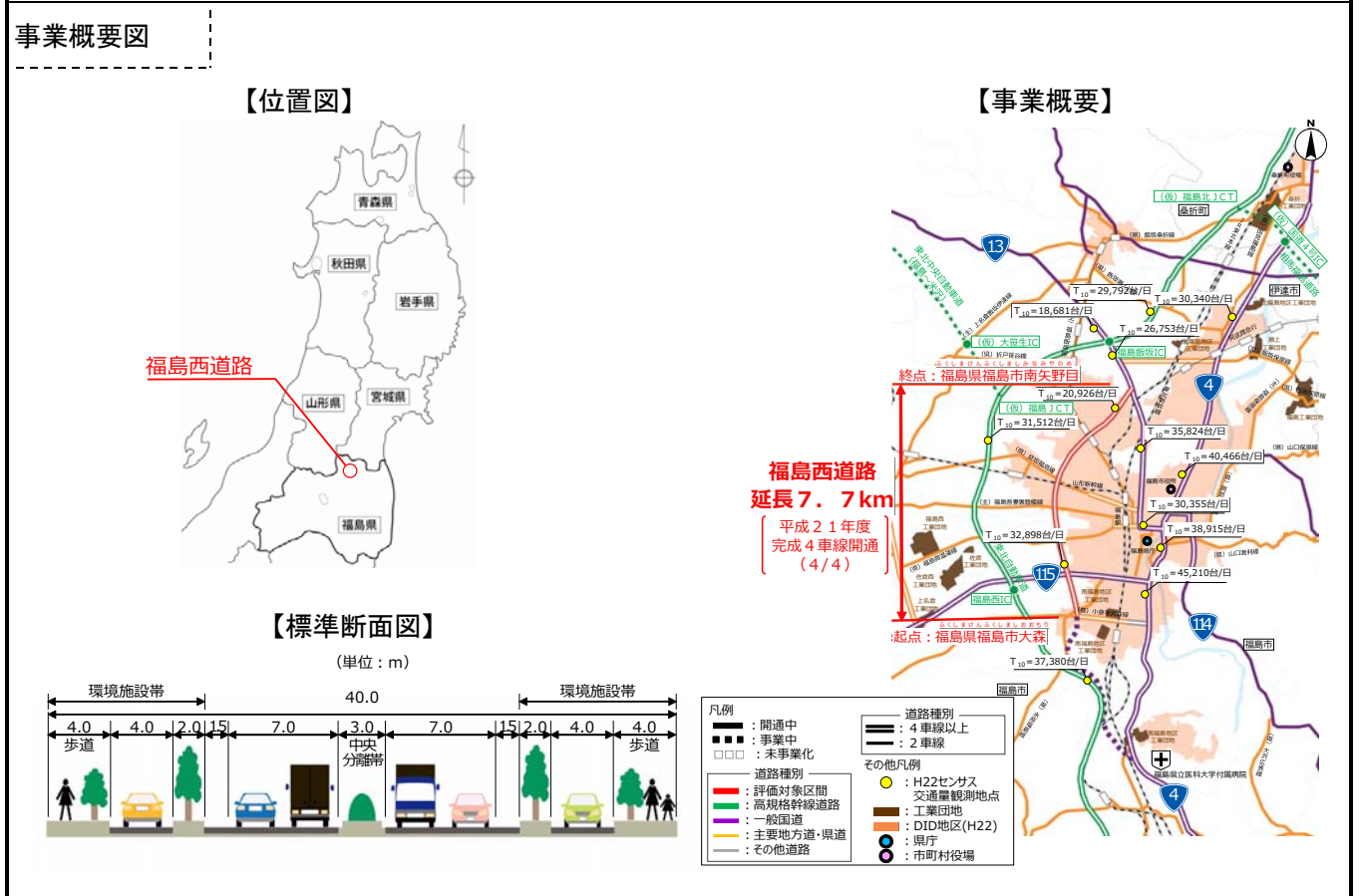
事業名	一般国道13号 福島西道路 <small>ふくしまにし</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県福島市大森 <small>ふくしま おおもり</small> 至：福島県福島市南矢野目 <small>みなみやのめ</small>	延長	7.7 km		

**事業概要**

国道13号は、福島県福島市から秋田県秋田市に至る延長約393kmの主要な幹線道路である。  
 福島西道路は、福島県福島市大森から同市南矢野目に至る延長7.7kmの4車線道路であり、平成21年度に全線4車線で開通している。

**事業の目的・必要性**

一般国道13号福島西道路は、国道13号及び国道4号の交通混雑の緩和・交通安全の確保、福島市の産業振興による地域活性化の支援等を目的とした事業である。



事業の 効果 等	事業期間	事業化	昭和三十七年度	用地着手	昭和三十九年度	供用年	(当初) - / -	変動	一倍
		都市計画決定	昭和三十七年度	工事着手	昭和三十九年度	(暫定/完成)	(実績) H20/H21		
	事業費	計画時	(名目値) - / 645億円	実績	(名目値) - / 633億円			変動	一倍
		(暫定/完成)	(実質値) - / 1,442億円	(暫定/完成)	(実質値) - / 702億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	(H20再評価時)	実績	(H26)			変動	-5.6%
		(暫定/完成)	- / 36,000台/日	(暫定/完成)	- / 34,000台/日				
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)		16.3km/h → 36.9km/h (供用前年次) H9年度 (供用後年次) H22年度	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	144.5件/億台キロ → 119件/億台キロ (S55) (H24)				

事業 の 効 果 等	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C 1.8	総費用 927億円 事業費：908億円 維持管理費：19億円	総便益 1,689億円 走行時間短縮便益：1,606億円 走行経費減少便益：77億円 交通事故減少便益：6億円	基準年 平成20年
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C 2.1	総費用 1,121億円 事業費：1,051億円 維持管理費：70億円	総便益 2,325億円 走行時間短縮便益：2,229億円 走行経費減少便益：86億円 交通事故減少便益：9.6億円	基準年 平成26年
	事業遅延によるコスト増	—	費用増加額 —	便益減少額 —	
事業遅延の理由 ・特になし					
客観的評価指標に対応する事後評価項目 ①円滑なモビリティの確保 ・現道の渋滞損失時間（整備前）618万人・時間/年 → （整備後）418万人・時間/年 ②都市の再生 ・幹線都市計画道路網密度の向上（整備前）0.53km/km <sup>2</sup> → （整備後）0.56km/km <sup>2</sup> ③個性ある地域の形成 ・福島西ICから福島市国体記念体育館へのアクセス向上（整備前）11分 → （整備後）9分 ④安全な生活環境の確保 ・国道4号における死傷事故件数の減少（整備前）227件/年 → （整備後）135件/年					
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 ・評価対象区間の並行区間（国道13号）については、平成22年度に環境騒音調査を実施。完成後は環境基準を達成しており、良好な沿道環境を形成している。				
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし				
事業評価監視委員会の意見 ・事業当初の目的に対し効果を発現しており、対応方針（案）どおり、「今後の事後評価及び改善措置の必要はない」は妥当					
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ○高規格幹線道路の整備状況（東北縦貫自動車道・東北中央自動車道） 昭和50年4月1日 郡山IC～白石IC間 83.1km開通 平成10年度 東北中央自動車道（福島～米沢） 事業化 平成25年度 一般国道115号 相馬福島道路（霊山～福島） 事業化 平成29年度 東北中央自動車道（福島～米沢） 開通予定 ○その他の状況 平成24年度 一般国道13号福島西道路（Ⅱ期） 事業化					
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・事業当初の目的に対し効果が発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要はないと考える。					
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ・特になし					
その他特記事項 ・特になし					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。